

○新たな施策の要望又は提案を求めるもの

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案（ ・ ・ 第 回総会； 市）		
種類	<input type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input checked="" type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの ^{※注} <input type="checkbox"/> その他（ ）	分野	<input type="checkbox"/> 総務文教 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 建設
要望先	<input type="checkbox"/> 国	担当省庁	
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	農政部
	<input type="checkbox"/> その他	名称	
件名	14 広域獣害防護柵の維持管理に対する県費補助の実施について		
提案市	安曇野市		
提案要旨	<p>広域獣害防護柵設置にあたっては、国の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、資材費の定額補助を受け、地区の皆さんから労力を提供いただく協働体制づくりを行い設置しているが、設置後の地元地区における維持管理対策のため、県による財政的支援を求める。</p>		
提案理由	<p>有害獣による農作物への被害を防止するため、平成 23 年度から国の交付金を活用し、地元地区の皆さんが、自力施工による設置と設置後の見廻りや、周辺の草刈り及び修理などの維持管理を行っていただくことを条件に、防護柵設置を進めている。</p> <p>防護柵の設置距離も年々延長する中、柵設置後の地元地区への負担軽減を図るため、市単独による財政支援を検討中であり、あわせて県費補助による維持管理対策への財政支援が必要である。</p>		
現況及び課題等	<p>平成 23 年度から昨年度までに、地元地区の同意を得て、市内 8 地区・総延長 1 万 5,900m を施工済である。防護柵を設置した地区では、有害獣による柵の強行突破が見られず、農作物被害の減少へ繋がっている。</p> <p>しかし、柵の耐用年数が 14 年であること、年々老朽化も進むことなどから、設置地区においては、維持管理のための財源確保に苦慮している状況である。</p>		
関係法令			